

福井県公害センター年報

第 7 卷
1 9 7 7

Annual Report
of
The Environmental Pollution Research Center
of Fukui Prefecture

vol. 7
1 9 7 7

福井県公害センター

ま え が き

本県の環境状況は強力な公害対策の推進と各機関の協力により、年々着実に改善されています。しかしながら、依然として解決すべき環境問題は減ることなく、人々は益々快適な生活環境を求めるようになってきています。

本県では、これを背景に環境モデル県を目指し関係する施策が進められています。当センターでは、青い空を守るテレメーターによる監視網は一応完了し、県と福井市との相互のデータ転送設備が残るのみとなりました。また、清らかな水の保全対策の推進として河川の汚濁機構の研究に努める一方、感覚公害の防止では、悪臭、騒音、振動の地域指定および規制基準の設定と設定拡大が行なわれたのに伴い、市町村との緊密な連繫のもとに業務を進めております。これからも環境行政の激増する公害問題に対応しながら、科学的、技術的中枢機関として、県民の健康と生活を守るために積極的に調査研究を推進してまいりたいと存じます。

ここに昭和52年度の事業および調査研究の概要を年報として発刊することになりましたのでご覧いただき、ご批判、ご指導をいただければ幸いと存じます。

昭和53年8月

福井県公害センター

所長

岸 彦 平

目 次

1 運 営 概 要

1 沿 革	1
2 機 構	1
3 業務内容	1
4 人 員	2
5 業務分担	2
6 予 算	4
7 事業実施概要	5
(1) 公害技術会議	5
(2) 公害技術研修	5
(3) 市町村職員技術研修	5
(4) 研究発表	6
(5) 大気汚染防止対策	6
(6) 水質保全対策	46
(7) 施設見学者	63
8 備品整備状況	64
9 誌上および学会発表抄録	67

2 調 査 研 究

1. 硫黄酸化物自動測定機の吸収液の蒸発損失による指示値への影響について(第2報)	70
2. オキシダント濃度上昇時の気象条件について(第2報)	80
3. オキシダント自動測定機におよぼす窒素酸化物の影響について	91
4. オキシダント計動的校正にあたっての基礎的検討について	100
5. 森田、春江局についての硫黄酸化物拡散計算調査	104
6. 二酸化鉛法によるいおう酸化物濃度調査	114
7. 北陸自動車道敦賀インターチェンジ付近の大気	123
8. 雨水成分に関する調査研究(第3報)	135
9. 道路沿の一酸化炭素分布調査	155
10. 浮遊粒子状物質中の成分調査	163
11. 大気汚染による金属腐蝕調査	173
12. 悪臭物質実態調査(昭和52年度-その1-)	181
13. 悪臭物質実態調査(昭和52年度-その2-)	
漆器業排出ガス実態調査	198
14. 悪臭物質に関する研究(第3報)	
悪臭物質の測定に対する水分の影響について	205

15. 大気汚染物質のバックグラウンド調査	214
16. 事業所（染色工場）排水分析精度調査	230
17. 降水中の窒素とリンについて	247
18. 九頭竜川水系の窒素とリンについて	
－越前海岸への窒素とリンの負荷－	254
19. 高分子凝集剤に関する調査研究（第5報）	
－微量アクリルアミドの定量とその生分解－	261
20. 工場排水中のクロム分析法の検討	265